

## 「第2回 大熊町&七日町めぐりあいフェスタ」 (七日町通りまちなみ協議会 (会津若松市))

### 事業概要

七日町通りまちなみ協議会と大熊町が共同企画し、観光客等に元気に頑張っている姿を情報発信する。併せて、会津の農産物をPRし、風評被害を払拭する。

### 事業実施期間 (実施日)

平成30年6月3日

### 事業実施内容 と効果

東日本大震災後、会津若松市に避難し、市内に在住している大熊町の町民の方と七日町の交流を図るために、昨年に引き続き次の事業を実施しました。

- ①七日町市民広場において、大熊町の郷土食「すいとん」と会津の新鮮野菜を来場者に振る舞いました。
- ②大熊町と会津の子供たちが、太鼓演奏や白虎隊剣舞、吹奏楽の演奏などで交流を図りました。
- ③七日町パティオでは、大熊町の復興再生計画を図解した「大熊町の現状とこれから」のパネル展示をしました。来場者は2会場合わせて約300人の目標を大幅に上回る約650人を数えました。

この交流イベントは30年度で終了となりますが、七日町にとって会津若松市に避難した大熊町の人たちとの交流は長く記憶に刻まれるものと思います。

### その他ひと言

会津若松市にとって平成30年は戊辰戦争150周年という節目の年にあたります。原発事故で被災された大熊町とは苦難の中から復興再生するという共通性があります。この交流イベントはそうした精神性を確認する効果もあったのではないかと考えています。

### 事業実施の様子



七日町市民広場は大熊町の「すいとん」の振る舞いなど賑わいました。



子ども太鼓の他、大熊町商工会女性部などによる民謡「相馬流れ山」の踊りも披露。